

ブルネイ・ダルサラーム国 研修旅行レポート

荻野 佳明

本年は、私のわがままでブルネイまで行かせていただき、皆様のお陰を持ちまして、楽しい研修旅行が出来ました事を御礼申し上げます。

私の希望で油田見学に成りましたので、油田について少し書かせて頂きます。

現在、起源と考えられている説は、有機成因論（生物由来説）が有力で、無機成因論と放射線論などが有ります。有機成因論は化石燃料と言われることで解るように、生物の死骸が、高温と高压で原油に変化する事です。植物は、石炭に成ります。

成分ですが、炭化水素を主成分とし、硫黄、酸素、窒素などを含む、鉱物資源で、精製する事で以下のような物が出来ます。炭素数によって分類されます。

炭素 1 個	メタン	CH ₄	
炭素 2 個	エタン	C ₂ H ₆	
炭素 3 個	プロパン	C ₃ H ₈	
炭素 4 個	ブタン	C ₄ H ₁₀	ここまでは常温で気体
炭素 5～7 個	ナフサ		
炭素 6～12 個	ガソリン		
炭素 10～15 個	ジェット燃料		
炭素 10～20 個	灯油、重油		ここまでは常温で液体
炭素 20 以上	パラフィン、タール、アスファルト		

産油国は、アメリカ、アラブ首長国、イラン、イラク、イギリス、オマーン、カタール、カナダ、カザフスタン、クウェート、サウジアラビア、中国、ナイジェリア、ブラジル、メキシコ、ロシア、ブルネイなど 60 カ国を上回ります。

日本でも北海道（勇払）新潟（岩舟沖、南長岡、東新潟）秋田（由利原）等が有ります。

原油からどの程度の製品が出来るかは、1 バレル（159 ㍔）で、精製の方法により違いますが、ガソリン、ナフサが約 30%、ジェット燃料、灯油、軽油、A 重油などで約 45%、C 重油、アスファルトが約 20%、LP ガスなど約 5% に成ります。

常温で精製する物は、LP ガス等（家庭用 LP ガス、オートガス、石油化学原料）

35～180℃ ガソリン、ナフサ等（乗用車、石油化学原料）

170～250℃ 灯油、ジェット燃料

240～350℃ 軽油

300℃ 以上 重油、潤滑油（エンジン・オイル）

残留分 タール、アスファルト、残余燃料

以上が原油の事で、実際日本には何処から原油が輸入されているかと言いますと、今回訪問したブルネイの原油は日本に入りません。これは、原油の採掘権に原因があり、ブルネイの採掘権はダッチ・シェルが持っています。開発の段階で誰が融資したか、技術提供をしたかによります。現在輸入している原油は、各メーカーにより違いますが、多い順にアラブ首長国、サウジアラビア、カタール、イラン、クウェート、オマーン、その他となり大半が中東に依存しています。しかし、ブルネイの天然ガスは、三菱が 25% の権利を持っているので、大量に日本に輸出されています。

現在、異常なまでに原油が高騰しております。以前は、採掘権の有る企業が価格を決めていましたが、産油国からの反発で、市場商品と代わり、現在は、先物相場商品（金融商品）となってしまいました。

今回の研修旅行を振り返りますと、最初に商工会議所の事務局から小沢君に参加して頂いた事に御礼を申し上げます。青年部事業として事務局の参加も頂き、有意義で、世界情勢を肌で感じる数少ない研修だと考え、参加させて頂いた事に感謝申し上げます。

初日ですが、出発、集合時間が遅いので、私の車に乗り合い成田に向かいました。（久米副会長の奥様には、お見送りまで頂き誠に有り難う御座います。）全員無事飛行機に乗り一路コタ・キナバルへ向かいました。今回の研修には残念なことに、某監事の参加を頂きませんでしたので、ハプニングもなく無事到着が出来ました。到着後、夕食を頂き、明日からのブルネイに備え、ビールを買い込み終了です。

2日目、まず空港で、持ち込みのビールでごたごたしましたが、ロイヤルブルネイ航空に乗りました。この飛行機は、定刻に成る前に出発したことも驚きましたが、出発の前に、機内のテレビでお祈りをしている事が異常でした。しかし、フライトアテンダンスの衣装が独特で非常に良いです。

ブルネイに到着後マーケットに行きました。行くまでは非常に裕福な国のイメージが有りましたので、アジアらしいマーケットが有り何処も変わらないように思えました。しかし、王宮博物館に行った際には、資源を持つ国の裕福さを実感させられ、以前は世界一裕福な国と言われただけの素晴らしい各国からの贈り物が展示されていました。そして王様のパレード用の輿は、エアコン完備なのに人力で引くことにも驚きました。裕福な国の軍隊は、自国では持たず、すべて傭兵だそうです。犯罪も、少なく、最近の殺人事件は、2年前で、警察の仕事は交通整理が主な役割だそうです。

宗教は、敬虔なイスラム教徒が95%以上なので、法律もコーランに順次、日本とはだいぶ違います。奥様は4名まで持て、若い女性と23時過ぎに会っているところを、宗教警察に見つかり強制的に結婚させられるそうです。他宗教の人が見つかったら、強制的にイスラム教に改宗させられ、結婚させられるそうです。

原油博物館的な所が有り行きました。そこでは、現地ガイドさんよりも、日向君と私が異常なまでに説明を始め、ガイドさんにも良い勉強に成ったことと思います。

続きまして、マングローブクルーズに行きました。ここでは、最初に猿を見つけた人が会長賞で、ワニを見つけた人が長沼副会長賞でした。会長賞は、久米副会長で、ワニは発見できませんでした。

3日目、今日は、油田見物とオイル&ガス ディスカバリーセンター視察です。実際に動いている原油ポンプは間近で見られ、海上プラントも海岸から見物が出来ました。ガス精製工場は、近寄ると撃たれそうな警告標識が有りましたが、数キロ先まで有るパイプラインの先に、タンカーも見ることが出来ました。実際にこれだけ近くで見られるとは思っていませんでしたので、非常に私は有意義な時間を過ごせたと思います。100億バレルの記念モニュメントも見学しました。現地ガイドさんですが、3人も同行して頂きましたが、実際は、ガイド研修をしていたように思えます。ガイドさんの会社には、4名の日本人ガイドが居るそうですが、その内の3名が来ています。非常に暇な会社かと思いましたが、日本人観光客は、年間4000人しか居ないそうで、商社関係者も居るので、観光客は、実際に少ないようです。ブルネイに居る間、日本人に会ったのは、ホテルで朝食の時、商社マン1名、夕飯の日本レストランで商社の接待らしい声がした事、2回しか有りませんでした。旅行に行き日本人が居ない所は本当に少ないと思います。是非皆さんも機会が有りましたら行って下さい、お勧めです。

4日目、ブルネイを出国し、マレーのコタ・キナバルに戻りました。本日は日曜なのでサンデーマーケットに行き、帰りがてらショッピングをして、終わりです。

5日目、朝、近所を散策し、日本へ出発と成りました。

今回の旅行も皆様に色々と迷惑をお掛けした事をお詫び申し上げ、楽しい旅行を企画し

て頂きました、長沼副会長、久米副会長を始め皆様方に御礼を申し上げ私のレポートに変えさせていただきます。有り難う御座いました。